



資料提供年月日	令和5年2月15日	
問い合わせ先	課名	SDGs・ESD推進課
	電話	直通 803-1351 内線 3761
担当者	職名・氏名	課長 岩田 課長補佐 水谷

広 報 連 絡

- 1 件 名 ブルキナファソのアブゼ・ジグマ王女殿下が岡山市長を表敬訪問します
- 2 趣 旨 国連ほかで環境等の多様な課題解決に取り組むブルキナファソのアブゼ・ジグマ王女殿下を岡山大学が招聘することになり、この度、岡山市長を表敬訪問するものです。
- 3 日 時 令和5年2月21日（火）16時45分～17時00分
- 4 場 所 岡山市役所本庁舎3階 市長室
- 5 訪 問 者 アブゼ・ジグマ王女殿下（ブルキナファソ） ほか3名
- 6 アブゼ・ジグマ王女殿下のプロフィール 裏面のとおり
- 7 ブルキナファソについて

国名：ブルキナファソ (Burkina Faso) **面積**：274,200 km²（日本の約70%）
人口：2,150万人 **首都**：ワガドゥグ (Ouagadougou)
民族：モシ族（最大の民族）、グルマンチェ族、ヤルセ族、グルーシ族、ボボ族等
 ※アブゼ・ジグマ王女殿下はモシ族の王女
言語：フランス語（公用語）、モシ語、ディウラ語等約60言語
宗教：伝統的宗教57%、イスラム教31%、キリスト教12%
政体：共和制

(裏面あり)

アブゼ・ジグマ王女殿下 (H. R. H. Princess Abze Djigma) について

国籍： フランス、ブルキナファソ **年齢：** 1971年12月12生まれ (51歳)
言語： ムーア語、仏語、英語 **教育：** フランスの高校、大学、大学院卒業
地位： ブルキナファソのモシ族の王女。モシ族は主にブルキナファソ中央部に住む同国の最大民族。12世紀の有名な戦士でモシ王国の母とされるイエネンガ王女の直系の子孫。

主な活動：

20年以上にわたり、国連のSDGs、世界環境、持続可能な教育、気候、エネルギー政策に関する専門家、アドバイザーとして活躍。インフォーマルセクター（経済活動を行っているが法的手続きを行っていない企業や活動）の重要性を訴え、発展途上国の貧困層や若者、女性のエンパワーメントを推進する活動で国際的に認知されており、国連をはじめハイレベルな国際会議で講演や司会を務めている。

具体的には、世界の小規模事業者や女性、子どもたちにも行き渡るエネルギーを提供するプログラム「ママ・ライト 持続可能なエネルギーの取組 (MAMA-LIGHT Initiative for Sustainable Energy)」の代表を務める。このプログラムはインフォーマルセクターの支援、新規雇用の促進、女性のエンパワーメントを推進し、国連が選ぶSDGsに取り組む世界の14のプログラムの一つとなっている。

これまでに、国連防災世界会議「仙台防災枠組2015-2030」や「持続可能な開発目標 (SDGs)」 「パリ協定」などの国連の国際アジェンダに積極的に貢献。内陸開発途上国会議「ウィーン行動計画」や開発資金国際会議「アディス・アベバ行動目標」にも参加した。その貢献が認められ、2016年に国連本部（ニューヨーク）で行われたパリ協定の署名式では国連事務総長からゲストとして招待された。

このほかユネスコが実施する「ユネスコ・日本ESD賞」※で国際審査委員長を務める。また、「国連気候変動枠組条約締約国会議 (COP)」の第23～25回ではブルキナファソ代表団の副団長、第26、27回は代表団員として出席した。

※2016年に「岡山ESD推進協議会」が「ユネスコ・日本ESD賞」を受賞している